



Chartered April 11.1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Shozo Tsuzuki 4-18, Kurekawa-cho, Ashiya, Hyogo  
 Mail : [syouzou-tsuzuki@kcc.zaq.ne.jp](mailto:syouzou-tsuzuki@kcc.zaq.ne.jp) Phone : 0797-31-1447 659-0051, JAPAN  
 URL : <http://www.kobeymca.org/ys/ashiya/>

## 主 題

国際協会会長 「とにかくやろうー成せば成る」  
 Finn A Pederseon "To dare is to do"  
 アジア地域会長 「とにかくやろうー成せば成る」  
 Wichian Boonmapajorn "To dare is to do"  
 西日本区理事 「ワイズの原点 愛と奉仕で社会に貢献」  
 浅岡 徹夫 "Contribute to the Community  
 through Active Service with Love"  
 六甲部部长 「伝統を守りつつ、若返りを図ろう」  
 森 紘一  
 芦屋クラブ会長 「あなたがたは地の塩である」  
 都筑 省三 "You are like salt for all mankind"

会 長 都筑省三  
 直前会長 桑野友子  
 副 会 長 堤 清 島田 恒  
 書 記 堀江哲次 柏原佳子  
 会 計 羽太英樹 堤 清  
 監 事 上野恭男 田舎庸男  
 連絡主事 藤田良祐  
 六甲部 Y サ・ユース事業主査 桑野友子

6

June 2012  
 第 181 号

## 今月の聖句

すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」イエスはお答えになった。「『人はパンだけで生きる者ではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」  
 マタイ福音書 4:3 - 4

## 6月第1例会プログラム

と き: 2012年6月20日(水) 19:00~21:00  
 と ころ: ホテル竹園芦屋 3階  
 司 会: 井上雅司メン  
 受 付: 羽太英樹メン・渡辺倫子ウイメン

1. 開会点鐘 都筑省三会長
2. クラブソング斉唱 一同
3. 聖書朗読 羽太英樹メン
4. ゲスト・ビジター紹介 井上雅司メン
5. 食前感謝 堀江哲次メン
6. 食事・歓談 一同
7. 「1年を顧みて」 全員
8. 1)第2例会議事録の承認 都筑省三会長  
 2)事業委員報告・その他 各事業委員  
 3)次期六甲部報告 加輪上事務局長
9. YMCAニュース 藤田良祐連絡主事
10. ニコニコ献金報告 福原吉孝メン
11. 誕生祝い 都筑省三会長  
 上野恭男メン・桑野友子ウイメン
12. 閉会点鐘 都筑省三会長

## 一年を振り返って

会長 都筑 省三  
 全うできるのか心配しながらの船出でしたが、皆さまのあたたかいお支えを頂いて島田恒次期会長に無事バトンタッチをしようとしています。本当にお世話になりました。柏原書記から第一例会をはじめ諸会合に出席することが会長の大切な義務ですと助言を頂きました。守るようにしました。ワイズが身近になった一年でありました。いろんなことがありましたが印象に残っているのは、もりおかクラブのご縁で夏の甲子園に花巻東高校の応援に行ったことでした。結果は8対7で帝京高校に惜敗しましたが、その後西宮クラブも一緒に懇親会を楽しみました。恒例のクリスマス祝会は参加者の申し込みが少なく心配しましたが、途中から他クラブへ参加を呼び掛けを強めて頂き盛會裡に終わることが出来ました。またDBCの熊本みなみクラブの10周年記念例会には4人が参加し歓迎を受けたことも思い出です。特に忘れられない最大の出来事は飯田義雄ワイズの急逝です。突然の訃報に芦屋クラブと共に多くのワイズの皆さんが大きな衝撃を受け悲しみに包まれました。その中で私達は飯田さんの遺志と考え、式当日のさくら祭りに予定通り参加することを決めました。また六甲部の重責を上野部長をトップとして芦屋クラブが担うことを決めました。飯田さんが愛されたワイズ活動を大切にしていきたいと思いません。有難うございました。

## 5月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率	B F切手 (累計)
メンバー	14名	出席者 14名	0gm (28gm)
ビジター	0名	メイクアップ 1名	
ゲスト	2名	合 計 15名	
メネット	0名	在籍者 17名	ニコニコ (累計)
合 計	16名	(内広義会員 1名)	11,296 円
		出席率 93.8 %	(158,293 円)

## 5月第1例会報告

藤田 良祐

日時: 5月16日(水)19時~21時

場所: ホテル竹園

司会: 藤田良祐

出席者(敬称略): 上野、柏原、加輪上、桑野、島田、都筑、堤、中野、羽太、藤川、福原、堀江、渡辺、藤田(連絡主事)14名

ゲスト: 藤田美優、菅 瑞希(タイワークキャンプ参加リーダー)  
5月例会はタイワークキャンプへ参加した2名のユースボランティアリーダーをゲストに迎えました。都筑会長の開会点鐘により例会が始まり、羽太英樹メンの聖書朗読と島田次期会長による食前感謝の後、和やかな雰囲気です。食事・歓談の時を持ちました。

食事の後、藤田美優さん、菅瑞希さんからタイワークキャンプの報告がありました。キャンプではワークだけでなくストリートチルドレンとの交流や、学校での日本文化紹介の授業、サオヒンYMCAでの環境についての学びなど様々なことを体験したようです。「みんな友達の家」と名付けられた学習センターの建設では、ワーク経験もない自分たちがわざわざ日本から行って作業することの意味を見いだせず困惑しながらも、タイの人々と共に作業をすることを通して気付きや、学びがあったようです。いずれ時が経てば、タイでの学びや経験は記憶から薄れていくことと思いますが、タイの人々と出会い、共に心震わせたことだけは彼女たちの心の中に一生残る宝物になったのではないのでしょうか。毎年、多くのユースボランティアリーダー達をお支えいただいているワイズメンズクラブの皆様から感謝いたします。



タイワークキャンプ報告に続いて、加輪上敏彦メンより「シチリア旅行記」をお話いただきました。シチリア島について、その歴史や土地についてDVD上映も交えて分かりやすく、楽しくお話をいただきました。シチリアは様々な人々に征服された歴史があるため、多種多様な人種や建造物を見ることができるなど、訪れる国や地域の歴史を理解してから旅をすることの大切さを教えていただく機会となりました。

スピーチの後、都筑会長による第二例会議事録の承認、司会者によるYMCAニュースの説明があり、島田次期会長より芦屋クラブ15周年実行委員に6名が手を挙げ、ゲストスピーチについても都筑会長、加輪上メンより提案があったことが報告されました。また、上野恭男メンが次期六甲部長となられる

ので、芦屋クラブとして全面的にバックアップをすることを再度、確認しました。今月の誕生祝いとして渡辺倫子ウイメン、藤田連絡主事が祝福を受け、定刻通りに閉会となりました。



### タイワークキャンプ報告(1)

菅 瑞希

タイで過ごした2週間は一日一日の密度が濃く、見るもの、会うもの全てが新鮮で刺激的でした。私は、出発前「自分に出来ることは全てやろう」という意気込みで、このタイワークキャンプに臨みました。しかし、どうしても行きたかったはずのタイワークキャンプのはずなのに、タイに着いて数日間は緊張と不安からかずっと食事が喉を通らず、周りの方々に大変な心配を掛けました。私だけ別メニューの食事を用意して頂いたり、量を私のだけでもと減らしてくれたりしました。そんな状態の私に出来ることとは一体何だろうと悩みました。(略)

しかし、ホストファミリーを始め、村の人達は私達に何かをすること、同じ時間を過ごすこと自体を喜びに感じているのだと気付きました。そして、そこからは私も誰かを少しでも笑顔にしたい、笑顔にするために行動したい、と思うようになりました。子ども達が朝5時に起きて洗濯や朝食作りを手伝い、学校では炎天下の中、岩を運んだり壁を塗ったりとワークを手伝っている様子を見ているうちに、邪魔なのではないかと思っていた建設作業への不安、言葉や文化の違いへの悩みは、とても小さな物のように思え、それらはいつの間にか吹き飛んでいきました。何事も一緒にやることに意味があるのだから、自分の精一杯をみんなに示したいと思うことができるようになりました。(略)

タイではたくさんの人の優しさ、温かさに触れました。仲間や家族もできました。このタイワークキャンプでは言葉こそ違えども、気持ちを共有し、心を通わせることが出来たと確信しています。タイで感じたこと、経験や感動を大切にします。「自分に出来ることは全てやろう」という気持ちは出発前も出発後も変わっていません。今まではただ漠然とした気持ちでした。しかし、いつもパディーが私に言っていた「If you are happy, I'm happy.」という言葉から、私のやりたいこと、やるべきことが見えてきた気がします。「あなたが幸せになってこそ、私も幸せになれる」というこの言葉の通り、これからは誰かの為に生きること、誰かを笑顔にすることを自分の喜び、幸せにしていきます。



## タイワークキャンプ報告(2)

藤田 美優

ワークキャンプはキャンプだ！タイでの二週間、この言葉を頭の隅っくに置きつつ過ごしました。ただワークをこなすだけでなく、みんなが一人一人のFUNを感じるものになってほしい！と考えていました。そして実際そのようなキャンプになったと思います。たった二週間でしたが、初めて会うメンバーと異国の地での生活は毎日が刺激的で、たくさんの発見と出会いで溢れていました。新たな発見は、私に日本と日本での生活を見つめ直すきっかけをくれ、新たな出会いは、私の世界観をぐっと広げてくれました。(略) なにより村の雰囲気こそがそうさせたのだと思います。目の合った人にはにっこり微笑んでくれて、道を歩いてたら声をかけてくれて、私たちを受け入れてくれました。村で生活をして一番感じたことは"コミュニティの強さ"です。村のみんながみんなのことを知っていて、小さな子どもがいたら周囲の大人が気にかけて、ご近所さんみんなでパーティーをしたり、本当に村の中の結びつきが強く、温かいものを感じました。同時に、今の日本ってどうなんだろう？私は地域の人とどのような関係をもっているだろう？という疑問をもちました。そして自分の暮らしを振り返ってみると、本当に薄弱な関係性しか持っていないことに気付きました。(略)

今回のキャンプで一番楽しかったのが人と触れ合うことです。キャンパー同士はもちろん、街で、村で、学校や幼稚園で、多くの出会いがありました。言葉が分からなくても伝えようと思えば伝わるし、一緒に遊んだり、おいしいご飯を食べたり、そういうことでグッと距離は縮みます。国が違う、言葉が違う、考え方も違う、そういう違いを今回初めて顕著に実感しましたが、それが私たちの壁になることはないのだと思いました。これからもっと色々な国の人と関わりたい！そんな気持ちでいっぱいです。

## シチリアの旅の思い出

加輪上敏彦

シチリア島は、四国よりやや大きい島で、地中海では最大の島です。紀元前8世紀にギリシャ人が住み着き、シラクサはアテネに匹敵しました。アルキメデスも住んでいましたし、走れメロスの舞台です。その後、カルタゴ、ローマ、アラブ、ノルマン、スペイン、フランスなどの統治を経て、1860年イタリア統一の時、イタリアになりました。

色々な人々に支配されたので、いろいろな顔をした人が多くい



ます。その中で、黒いスーツを着てベンツに乗っている人を見ると、マフィアかな、と思ってしまいます。

ギリシャ遺跡が沢山残っています。活火山 エトナ山が噴炎を今もあげています。その名前を取ったワイン、エトナロッソ、なか



なかのものでした。教会などの建物も、色々な文化が混じったものでした。また行きたいなー。

## 六甲部準備役員会報告

次期六甲部部长 上野恭男

5月19日(土)、次期六甲部部长主催の準備役員会を神戸YMCA教室で開催しましたが、柏原書記、桑野会計と次期会長代理として都筑会長が参加しました。

会は柏原書記の司会で始まりましたが、本来なら主催者であるべき飯田ワイズのために、黙祷が捧げられました。柏原書記が今朝、飯田ワイズのお宅から頂いてきた飯田ワイズが好きだった白いバラが飾られて、厳粛な中に華やいた雰囲気が漂っていました。

森部長の開会点鐘、ワイズソング斉唱、開会祈禱、次期会長挨拶と型通り進行了。現主査と次期主査とが並んで座り重要な引き継ぎをし、その間、現、次期部長を囲んで懇談をしました。

現会長を除くメンバーを招集しましたが、参加者23名、所用があり欠席された方2名と、極めて高い出席率で飯田ワイズがあられたらどんなにか喜ばれたかと思いました。

3時の休憩で森部長をはじめ現役員の方は帰られましたが、それからが本番でした。次期会長、次期主査の活動計画の発表を各自され、あっという間に4時30分。最後は次期部長と全員懇談会となりました。7月14日の第1回評議会について、平家の講演と8クラブ納涼会の周知と協力の依頼、9月8日の六甲部部会、各クラブ部長訪問日程を詰めて、定刻の5時に無事会を終えることができました。

今回は、柏原書記の手許にあったバインダーを利用させていただき、立派な資料が出来ました。7月のキックオフが始まらないのに上々のスタートとなり、次期部長として心から感謝します。続いて飯田ワイズが3月末に予約された「味加味」で懇親会を開催しましたが、現も含め多くの方が参集され楽しいワイズの輪を広げることができました。最後まで飯田ワイズが心配りされたことを深く想いました。感謝！

## 第26回YMCAチャリティゴルフ大会

柏原佳子

5月9日(水)千刈カントリー倶楽部での芦屋クラブ参加者はプレイ時間がトップだったこともあり車の中からすでに雨に悩まされ?メンバー全員キャンセルという残念な日となりましたが、チャリティの5,000円を寄付金としたことは言うまでもありません。はじめて参加の藤田連絡主事と一緒に回れなかったこと、優勝を残すのみの輝かしい戦歴の福原メンの結果が見られなかったこと、午後には晴れになったことなど心残りではありません。YMCAから当日募金とは別に「神戸YMCA子供奨学金」へ、27,692円の寄付が寄せられ、当日参加できなかった方からもチャリティー協力金や物品を寄せられたこと、収益金から諸経費を除いた約285,000円は、神戸YMCA青少年指導者養成支援金として、また一部を東日本大震災の復興支援として捧げさせていただきますとの礼状が送られてきました。10月には開催予定です。次回は、前向きに頑張りたいと思います。

### 5月第2例会・議事録

日時:5月23日(水) 19:00~20:10

場所:市民会館 206号室

出席者:井上、上野、柏原、桑野、島田、都筑、羽太、藤田、堀江、(9名)

#### < 報告・協議・確認事項 >

#### 1) 芦屋クラブ 例会

6月第1例会: 6月20日(水)

テーマ「この1年を顧みて」

#### 2) 六甲部準備役員会報告(5月19日)

柏原ウイメンより報告。

#### 3) 今後の行事予定

6月9・10日(土・日) 西日本区大会

7月、11月第1例会はホテル竹園が使えないので市民会館で開催する。

#### 4) 会計報告

羽太メンより4月の会計報告があり、承認。

#### 5) 次年度ロスター校正

桑野次期書記が確認し修正された。

#### 6) 次期クラブ役員と15周年祝会

15周年祝会の実行委員:井上・桑野・島田・羽太・福原・藤田メンの6名で承認。

第1回実行委員会は6月5日(火)に開催。15周年会場はいまのところラポルテホールでまた開催時期は3月4月で検討中。

#### 7) 今後のクラブ行事での接待について

みどり作業所への水墨画の贈呈に関連し 若狭若州さんへの接待(食事代: ¥2940 x 2)はクラブが負担する。今後も必要な接待はクラブ負担とし 内容は都度 協議して決定する。

堀江哲次

## YMCAニュース

藤田良祐YMCA連絡主事

### 126周年創立記念日礼拝、開催

5月8日(火)に、創立記念日礼拝が開催、約80名が出席。岡山 YMCA 理事長の正野隆士さんを奨励者に、「全員参加の愛のYMCA」と題してメッセージ。

### 兵庫県功労者表彰、受賞

県功労者表彰が発表、神戸YMCA関係者は3名の受賞。「青少年育成功労」として、公益財団法人理事長の武田寿子氏、前総主事の山口徹氏が前兵庫県青少年団体連絡協議会会長の肩書きで授賞、神戸YMCA 総主事の水野雄二氏が「教育功労」として、神戸YMCA 学院専門学校校長の肩書きで授賞。

### シアトルYMCA一行、来神!

神戸市とシアトル市との姉妹都市締結55周年を記念したシアトル市の訪問団38名の一部として、5月11日(金)から21日(月)までシアトルYMCAから13名が、神戸YMCAとの友好を深める交流。両YMCAのスタッフレベルの懇談会を持ち、今後更に交流が広がることが期待。

### リーダー委嘱式、開催

5月20日(日)に、ユースボランティアリーダーの委嘱式とリーダートレーニングが開催。100名近いリーダーが集ったが、統計では500名を超えるユースリーダーが登録、活動。これらのリーダーが神戸YMCAの宝、一人ひとりが光り輝くように守り育てたい。

### 東日本大震災支援活動

仙台YMCA、盛岡YMCA 宮古センターに加えて、東京YMCAが宮城県石巻市に設置された石巻センターの3つの拠点を中心に活動が継続。地域の認知も益々広がり、支援活動は多様に。募金は現在、全国で3億円の目標に対して3.6億円が集り、それに基づいた活動ができています。被災YMCA支援募金は目標に届いていない状況で、今後、更なる募金が求められています。

### 今後の予定

#### 1) ユースプラザミニコンサート

日時:6月23日(土)15:00~15:30

場所:ユースプラザKOB・EAST(御影クラッセ4F)

出演:神戸市立六甲アイランド高等学校吹奏楽部

#### 編集後記:

堀江哲次

5月25日(金)芦屋西教会の築山泰三牧師が天に召されました。クリスマス祝会でのユーモアと含蓄に富んだ奨励が思い出されます。4月の飯田メンと悲しい出来事が続きましたが残されたご遺族に主の愛と慰めがあることを祈ります。

5月21日(月)金環日食が日本列島各地で見られました。太陽と月、この2つの天体が一直線に並び、大きさの比と地球からの距離の比が400:1で一致する偶然がドーナツでない美しい金環を作るという不思議さを思います。月の影の中で見る太陽の美しさを鑑賞されたでしょうか。